

王舎山城ノ景

第二十八圖解説

天 そいな山頂ノ遺趾

そいな山ノ東南麓ニハ所々ニ石壁ヲ遠シ、北方ニ二條、東方ニ一條ノ大石道アリテ、共ニ山上ニ通ズ、山上ハ一帶平坦ニシテ、城砦或ハ大建築物ノ遺趾十餘處アリ、此ニ上レハ城内ヲ脚下ニ瞰視シ、又連山ヲ超エテ、遙カニ南北ノ平野ヲ望ムベシ、其西北そいな大山ニ接スルノ處、深澗アリテ、別ニ脈出ノ城壁アリ、一帶ノ形勢甚雄偉ナリ、此圖ハ頂上大遺基ノ中央光景也。

地 舊城内印度教祠ヨリ、おぶら山ヲ望ム

舊城ノ廓内ハ東西長ク南北狭シ、周圍約二十五英里、連山ノ頂ニハ一帶ノ城壁ヲ繞ラセル故趾アリ、内部ハ概ネ平坦ニシテ、丈餘ノ雜草雜木密茂シ、一望無人ノ荒野タリ、上古ハ摩訶陀王城トシテ、しすな一が歷朝ノ國都タリシモ、今ハ閭里遠ク隔タリ、狐兔ノ群叢裡ニ跋扈シ、猛虎往々ニシテ、貪婪ノ慾ヲ恣ニスルアルニ至ル、今古興亡ノ跡感慨ニ堪ユベケンヤ、

此圖ハ山城ノ中央ニ存スル印度教祠ト共ニ、其東北遙ニおぶら山ヲ望ムノ景ニシテ、北山上ニハ數個ノ閻延教祠及ビ大ナル甄精舍ノ故基アリ、又此山ノ南崖ニハ、提達婆多入定ノ石室、及自害投崖證果兩比丘ノ塔趾アリ、